

ネットマネー

読者と
マネーを
つなぐ
ゴキゲンで
Helloな
10ページ

「経済って難しそう」
「投資って怖そう」…
でも、今の日本で
暮らしていくには、真剣に
お金と向き合わなきゃ!
お金の逃げられない、
お金の振り回されない、
お金が寄ってくる——
そのために必要な
「マネー基礎力」を
つくるヒントが
いっぱい!

なかの・はるひろ ● 1987年、西武クレジット(現・クレディセゾン)入社。投資顧問事業を立ち上げ、運用アドバイザーを手がける。2006年にセゾン投信を設立。07年4月より代表取締役社長に就任。

CONTENTS

- Hello 1** P.111
拝啓Mr.マネー
- Hello 2** P.112
あなたのお金の悩みに答えます
マネーミリオンQ&A
- Hello 3** P.114
今月の投資信託
Fun! Fan! Fund!
- Hello 4** P.116
NET証券・銀行・FX
最新ニュース&データBOX
- Hello 5** P.120
『ネットマネー』読者の
儲けジマン&大損集合
「損得メール大賞!」

Hello Hello Hello

自分のお金を
社会の役に立てて、
リターンを享受する

学生時代はお金に関わる仕事に就くつもりなんてなかったし、まったく興味もありませんでした。トラックの運転手やピアガーデンのウェイターなどといったアルバイトに励みましたが、それはあくまでもデート代を稼ぐためのものでした(苦笑)。

実は、就職先にセゾングループを選んだのも、当時の堤清二代表が時の人であこがれの人だったから。正直、仕事に対して特に思い入れはありませんでした。ところが、入社後3日目に配属されたのがグループ傘下の運用会社だったんです。それ以来、今日に至るまでずっとお金に関わる仕事に携わることになり、いつの間にか私の「天職」となっていたわけです。

当時はバブル経済の真つただ中で、まわりは誰もがさ



ープを選んだのも、当時の堤清二代表が時の人であこがれの人だったから。正直、仕事に対して特に思い入れはありませんでした。ところが、入社後3日目に配属されたのがグループ傘下の運用会社だったんです。それ以来、今日に至るまでずっとお金に関わる仕事に携わることになり、いつの間にか私の「天職」となっていたわけです。

は年収が300万円程度にすぎないのに、2000万円もの借金を背負っていました。保有している株券を担保に

まじい勢いでガツガツと投資を行なっていました。私もすぐに感化され、とにかく株は上がるものだと信じて買いまくったものです。そして、20代半ばの段階では年収が300万円程度にすぎないのに、2000万円もの借金を背負っていました。保有している株券を担保に

お金を貸してもらったので、あのころはそれを元手にさらに買い込んだんです。気がつけば借金が膨らみ、その場で清算すれば即座に自己破産という状況に陥っていました。

しかし、一発逆転を狙って買った銘柄がたまたま2倍ぐらいに高騰し、その利益でどうにか借金を返済。これを最後に、私は個人的な株の取引を封印しました。つくづく懲りたからですが、やがてこう

Hello 1 拝啓 Mr. マネー

Haruhiro Nakano

中野晴啓

セゾン投信
代表取締役社長

バブル真つ盛りの時代、
思いがけずお金の仕事に就き、
株の短期売買で冷や汗をかく。
それを教訓に中野さんが
悟ったのが長期投資。お金の
十分な時間を与え、世の中に
貢献するという投資の王道だ。

考えるようにもありませんでした。金融マンとしてのプライドを持ち、きちんと世の中に貢献できる本来の投資を貫くべきだと……。

株式投資の王道とは、企業の本質的価値に注目すること。それが正当に評価されるには相応の時間を要しますが、機関投資家は決算までに決着をつけなければならず、「10年もたてば何倍にもなるのに……」との忤怩たる思いで売り買しているのが実情。その点、個人投資家には期限がありません。お金にしっかりと働いてもらうために最も大切なのは、十分な時間を与えること。いわば、時間はお金の栄養剤

です。長期のスパンで資金を投じることで企業に事業資金が供給され、経済の付加価値を生む原動力となります。そして、経済が拡大して世の中が豊かになれば、投資家もリターンを享受できるのです。私がセゾン投信を設立したのも、ファンドを通じて個人投資家のお金を集めて、この本来の投資(長期投資)を広く実践するためです。

時間は
お金の
栄養剤

セゾン投信
中野晴啓